

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立初芝体育館、初芝野球場、初芝テニスコート、初芝駐車場、白鷺野球場、白鷺運動広場	
(2) 施設の設置目的	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため設置	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ (美津濃株式会社、公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団、大林ファシリテーズ株式会社大阪支店)	
(5) 指定期間	
平成28年4月1日から令和3年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
①管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の収受、トレーニング機器の調達・管理、駐車場管理業務、ニュースポーツ用具の貸し出し、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応) ②施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更、現地調査の対応) ③自主事業(スポーツ教室の企画及び実施、トレーニング講習の実施、その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業) ④その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議、公衆電話の管理)	
(7) 有料施設の有無	
有(利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
無	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

堺市グラウンドゴルフ協会との協働によるグラウンドゴルフ大会の開催やキッズヘキサスロンなどの子ども向けイベントの実施、プロ選手によるバドミントンビクトリークリニックを開催し地域スポーツ振興に貢献している。スポーツ教室においては、幼児からシニアまで幅広い年齢層を対象に、各年齢層のニーズに応じたプログラムを実施しており、好評を得ている。

(2) 利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ
ア 利用者数 (人)	268,511	277,243	245,409	265,927	
利用者数の算出方法	日々の利用報告書の集計				
市による状況分析	空調更新工事により利用者数が減少した前年度と比較すると、増加しているが、新型コロナウイルスの影響を受け、過年度の利用者数を下回った。				
イ 稼働率 (%)	別紙参照	別紙参照	別紙参照	別紙参照	
稼働率の算出方法	使用コマ数合計/利用可能コマ数合計				
市による状況分析	前年度と比較し、平日の稼働率が第1・第2体育室は増加しているが、第3体育室が減少傾向にあるので、第3体育室の利用率増加策を検討していく必要がある。				
ウ 利用者満足度 (%)	93	95	98	98	
利用者満足度の測定方法	初芝体育館、初芝野球場、初芝テニスコート、白鷺公園野球場、白鷺公園運動広場の利用者を対象にアンケート用紙を配布。7月174件、11月50件、2月89件の回答より職員対応についての満足度を計測。				
市による状況分析	利用者満足度について、年々上昇し、前年度と同様、高い水準を維持しており、接遇向上に努めた結果が反映されている。				
(3) 管理体制等					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	-	-	16	16	16
イ 職員研修(回) ※令和2年度は予定回数	9	5	3	3	3
ウ 要望、苦情等(件)	6	0	1	3	-
エ 事件、事故等(件)	3	6	8	3	-
市による状況分析	前年度と比較し、要望・苦情等が2件増加、事件・事故等は5件減少している。近隣住民からの苦情が2件あったので、周辺への影響に配慮していく必要がある。				

(4) 収支状況(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	52,207,000	52,018,618	52,207,000	52,690,398	53,174,000
	利用料金	50,580,210	48,760,560	46,577,930	47,544,830	50,200,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	3,923,244	2,587,250	3,054,307	861,735	3,083,000
合 計		106,710,454	103,366,428	101,839,237	101,096,963	106,457,000
イ 支出	人件費	41,810,494	41,174,377	41,425,238	41,895,559	42,239,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	22,715,640 (22.7%)	20,029,971 (20.3%)	23,374,491 (23.2%)	22,995,875 (23.3%)	23,000,000 (21.6%)
	修繕費	4,335,846	4,111,618	4,623,532	4,340,186	4,380,000
	光熱水費	15,244,364	16,381,317	16,508,233	16,087,371	21,565,000
	その他経費	15,898,350	16,833,820	14,673,546	13,519,345	15,273,000
合 計		100,004,694	98,531,103	100,605,040	98,838,336	106,457,000
利用者一人当たりの支出額		372	355	410	372	—

ウ 収支差額	6,705,760	4,835,325	1,234,197	2,258,627	0
--------	-----------	-----------	-----------	-----------	---

エ 市への納付金の額				0	0
------------	--	--	--	---	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	前年度と比較し、スポーツ教室の経費の増加により、その他収入が2,193千円減少しているが、光熱水費をはじめ、支出経費の削減に努めており、収支差額は前年度より1,024千円増加している。
----------	--

■ 自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	35,377,348	34,629,539	31,214,592	31,534,121	32,122,640
イ 支出	31,454,104	32,048,399	28,165,595	33,936,045	29,104,477
ウ 収支差額	3,923,244	2,581,140	3,048,997	-2,401,924	3,018,163
エ 市への納付金の額	12,000	36,000	48,000	48,000	48,000
オ 事業数(回)	1,167	1,131	1,111	1,090	
カ 参加者数(人)	27,595	27,872	24,277	25,981	

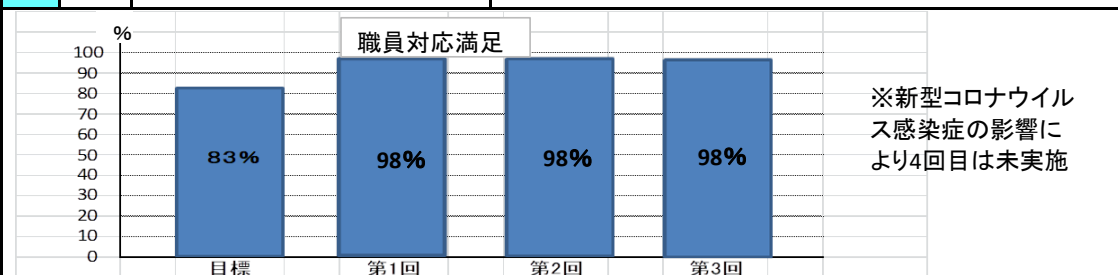
主な自主事業	スポーツ教室・イベント等事業、スポーツ用品販売事業、飲料自動販売機設置事業
--------	---------------------------------------

市による状況分析	前年度と比較し、収入は自動販売機の売り上げの増加などにより320千円増加しているが、支出がスポーツ教室の経費の増加により5,770千円増加しており、収支は赤字となった。
----------	--

3 目標管理、評価等

(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	利用者満足度	(設定理由) 適正な管理運営が確保できているかが利用者満足度に現れるため。
	目標	【市の目標】 年4回、アンケート調査及びモニタリングを行い、①職員の適切な接客対応②施設・設備等の安全確保の徹底③利用者ニーズに基づく事業実施④苦情の適切・迅速な対応について満足及びやや満足の回答合計が80%を超えること。 【指定管理者の目標】 接客対応で満足度83%以上	(設定理由) 過去の実績以上の満足度をめざすため。
	実績	職員対応満足度平均98% 第1四半期98% 第2四半期98% 第3四半期98% 第4四半期は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 4回実施した結果は目標の83%を上回り利用者には概ね良い評価を得ている。



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	利用者に平等・公平なサービスを提供するために接客研修や人権研修等を実施。また、中高年の利用者の方が多いため、救命講習を実施。
---------------------------------------	--

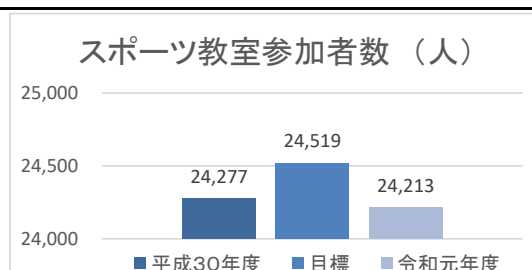
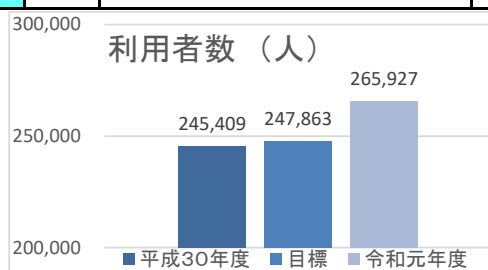
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	要望によりトレーニング室に消毒液の設置、更衣室に扇風機の設置、シャワー水量の調整など対応。また体育室の空調等要望に対してこまめに調整対応。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	A	
	具体的な理由	接客サービス等の業務研修の実施や、意見箱を設置して利用者の意見、要望の聞き取りを行うなど、満足度アップに努め、目標を上回った。	接客研修や、AED講習会などを実施し、利用者が安全に、気持ちよく施設を利用できるよう努めている。また、利用者の要望に迅速に対応しており、利用者満足度は高水準を維持している。
対応策等	スタッフ対応を向上させるための接客研修等を行い、ご利用者の様々なご要望も平等・公平なサービスを提供できることを基本に対応している。施設設備・備品等の定期的な点検を十分に実施し、清潔で使いやすく、安全・安心な体育館をめざす。	利用者アンケートなどにより、利用者ニーズを把握し、引き続き研修の実施や、きめ細やかな施設設備の点検、清掃等の維持管理を行い、利用者満足度を高い水準で維持できるよう努めていただきたい。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2) 利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	施設利用者数 スポーツ教室事業参加者数	(設定理由) 利用者サービスの向上が数字に現れるため。
	目標	<p>【市の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館・野球場・テニスコートにおける平日の利用率向上に取り組みながら令和2年度の施設利用者を平成26年度比5%増 (平成26年度 延べ280,787人/年) ・教室参加者数が令和2年度において平成26年度比5%増 (平成26年度 延べ25,892人/年) <p>【指定管理者の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数 目標前年度比1%増 (247,863名) ・スポーツ教室参加者数 目標前年度比1%増 (24,519名) 	(設定理由) 過去の実績以上の利用者数をめざすため。
	実績	施設利用者数265,927名 スポーツ教室事業参加者数24,213名	(分析) 施設利用者数は目標達成したが、スポーツ教室は新型コロナウイルス感染症の影響による3月の休講の影響で減少した。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	体育館主催大会の実施 (卓球/バドミントン/グラントゴルフ)、元オリンピック選手による無料のバドミントンクリニックの実施、運動会前の走り方教室などジュニアイベントの強化など。
--	---

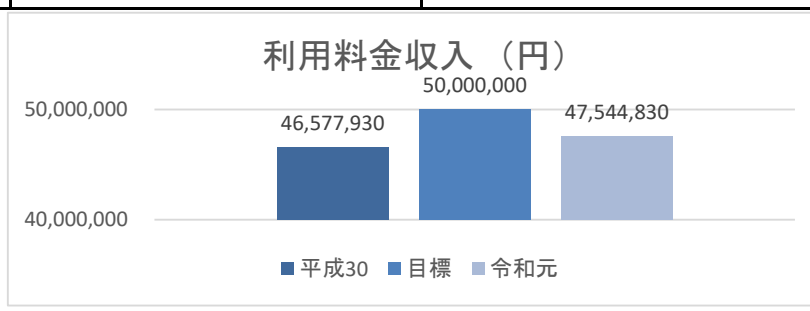
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	無し。
-----------------------	-----

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	各種多様な教室、イベント、大会等を継続的に実施しており、プロ選手によるクリニックなども含め、施設利用者のさらなる増加をめざして取り組んだ。	利用者数は、空調工事により減少した前年度と比較すると増加したが、過年度水準には届かなかった。スポーツ教室については、幼児から高齢者まで幅広い世代に対応した教室を数多く展開しており、またプロ選手を招いたイベントを企画するなど、スポーツに親しむ機会づくりに貢献した。		
対応策等	施設利用していただくために提供すべき情報量も多いので、利用者増のための情報だけでなく危機管理についてもホームページ等での情報発信を強化していく。	幅広い世代を対象としたスポーツ教室や魅力あるスポーツイベントを実施し、利用者の増加に努めていただきたい。また、第3体育室の平日稼働率の向上をめざした教室やイベントの開催を検討いただきたい。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 利用促進が図られた結果が反映されるため。
	目標	令和2年度までに年額50,000千円以上	(設定理由) 過去の実績以上の満足度をめざすため。
	実績	47,544,830円	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 3月の新型コロナウイルス感染症の影響もあるが目標を下回った。



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響により2月末より利用料金収入減、子ども教室など中止したため収支に影響あり。経費削減に努める。
------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	無し。
-----------------------	-----

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	B
	具体的な理由	利用料金収入は目標よりも減少したが、節電に取組み、光熱水費やその他経費削減により支出額はそれ以上に減少となった。	利用料金収入は、第1～3四半期までは前年度より約100万円増加していたが、第4四半期は新型コロナウイルス感染症の影響があり、前年度と比べると減少した。利用料金収入は目標に届かなかったが、光熱水費や委託料の削減に努め、収支差額は前年度より約100万円の増加となった。	
対応策等	令和2年度の目標は新型コロナウイルス感染症の影響で達成できないと思われるが昨年同様に経費削減等できるだけ支出も抑えていく。	利用料金収入については、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、引き続き管理経費の縮減に努めていただき、健全な経営状況を維持いただきたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

初芝体育館等利用率

※弓道場、トレーニング室、研修室を除く

(単位：%)

施設名	室名	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
初芝体育館	第一体育室	平日	93.2	92.4	90.9	91.7
		土日祝	99.4	99.3	97.7	96.6
		計	95.6	95.1	93.6	93.6
	第二体育室	平日	90.1	92.9	87.9	93.2
		土日祝	89.0	87.8	83.2	80.9
		計	89.7	91.1	86.2	88.5
	第三体育室	平日	58.4	53.0	52.2	50.9
		土日祝	78.3	67.5	73.5	67.4
		計	65.5	58.0	59.7	56.9
初芝野球場	平日	9.8	10.0	10.9	11.4	
	土日祝	72.8	71.2	74.1	67.8	
	計	30.5	29.3	30.6	29.9	
白鷺公園野球場	平日	28.6	27.9	23.8	20.8	
	土日祝	88.7	86.0	89.2	87.0	
	計	48.6	46.1	44.7	42.7	
初芝テニスコート	平日	66.1	63.6	61.5	60.1	
	土日祝	97.8	96.2	97.4	97.8	
	計	77.1	74.6	73.7	73.3	
白鷺公園運動広場	平日	80.1	67.7	64.4	63.0	
	土日祝	99.4	95.6	92.7	90.7	
	計	86.5	76.3	73.3	72.5	